

ムハンマドによる非ムスリムへの慈悲（半）

:

明:

その生涯を通じて自身の使命に せしめられ、 害を企てた者にさえも示された、 言者の非ムスリムに する慈悲。 半。

目: [事代におけるイスラ ムとノンムスリム](#)

目: [事言者ムハンマド彼の性格](#)

より: M. アブドッサラ ム (2010 IslamReligion.com)

日 13 Sep 2010

集日 13 Sep 2010



言者による慈悲は、彼の叔父であり、彼の最も した人物の一人でもあったハムザを 害し、その死体を残虐にも した者にまで及びました。ハムザは初期のイスラ ム改宗者の一人であり、クライシュ族におけるその地位と影 力により、ムスリムに する危害を最小限に食い止めた人物でした。アブ スフヤ ンの妻、ヒンドのエチオピア人奴 は、ウフドの いにおいてハムザを探し出して 害しました。マッカの 血入城の前夜、アブ スフヤンはイスラ ムに改宗しましたが、そのことについての 言者（神の慈悲と祝福あれ）による を危惧しました。しかし 言者は彼を赦し、 年に渡る 行 に しての いを一切要求しなかったのです。

ヒンドはハムザの害、その体を切り取って肝や心を取り出し、切り刻みました。に彼女が静かに言者のもとをイスラムに改宗したとき、彼は彼女の姿をしましたが、何も言いませんでした。彼女は彼の雅量とさに心を打たれてこう言いました：

「神の使徒よ、私の目にとってあなたの天幕よりも忌々しいものはありませんでした。しかし今日、私の目にとってあなたの天幕よりもおいしいものはありません。」

アブ ジャハルの息子イクリマは、言者とイスラムにとっての大敵でした。彼はマッカの血入城の時にイエメンへと逃走しました。彼の妻がイスラムへ改宗した、彼女は自らの庇のもと、彼を言者ムハンマドのもとに連れて来ました。言者は彼を目にすると非常に喜び、次の言で挨拶をしたのです。

????????????????

マッカの支配者の一人であったサフワブンウマイヤも、ムハンマドとイスラムにとって大敵の一人でした。彼はムハンマド害の返りとして、ウマイルブンワハブに酬を束めました。マッカが攻略された、サフワンはイエメンへと逃れるための船を探しジェッダへと向かいました。ウマイルブンワハブはムハンマドのもとにやって来て言いました：「神の使徒よ！彼自身の部族のであるサフワブンウマイヤはあなたによる危害を恐れて逃亡し、海に投身するとしていますぞ！」言者は、彼の身の安全を保する知らせを彼に送りました。そして彼は来て来ると、2ヶ月の預をくれるようムハンマドに要しました。彼には4ヶ月の預が与えられ、その自らの自由意志でイスラムに改宗したのです。

ジャビルブンアル＝アスワドも、ムハンマドとイスラムの大敵でした。彼は言者の娘ザイナブがマディナへの移住を意した、彼女に深刻なをさせました。彼女は移住を始めたに妊娠しており、マッカの多神教徒らは彼女の出を阻止しようとしてしました。この男、ジャビルブンアル＝アスワドは彼女をい、意的に彼女がラクダから落すよう仕けたのです。その落下によって彼女は流し、彼女自身も重をいました。彼はそれだけでなく、ムスリムにして他にも多くの犯罪を犯しました。彼はペルシャへの逃亡を望みましたが、ムハンマドは自分のもとをれた彼を大にも赦したのです。

またクライシュ族はイスラ ムの最大の でした。ムハンマドが 言者としてマッカに住んでいた13年 に渡って彼らは彼を非 し、嘲笑し、暴行を加え、肉体的にも精神的にも迫害したのです。彼らは 言者の礼 中に、彼の からラクダの胎 を投げつけたり、彼と彼の部族をボイコットし、堪え い社会的制裁を したりしたのです。彼らは 言者の 害を何度も策略した上、彼がマディ ナへ脱出した には、アラブの 部族を して 度にも渡る 争を仕掛けて来たのです。しかしながら、彼が1万の を れてマッカに 利の入城をした 、彼は一人に しても することがありませんでした。 言者はクライシュ族にこう言ったのです：

??

良い反 を期待し、彼らはこう言いました：「あなたは善いことをするでしょう。あなたこそは高 な兄弟の息子である、高 な兄弟なのですから。」

すると 言者は言いました：

???

私たちは 史をくまなく 回しても、これ程までに慈悲がかけられた例を 多に つけ出すことは出来ません。イスラ ムに する数々の 争を仕 けた危 まりない 、アブ スフヤ ンでさえ、家に留まり全く危害を与えなかった他の人物同 に赦されたのです。

言者は 容に した人物でした。いかに大きな犯罪または侵略であれ、彼にとっての赦しに るものはなかったのです。次のクルア ンの も言及しているように、彼は 容と慈悲における最も完全な例なのです。

??199?

彼は常に 容さと 切な 度による善をもって を退けました。それは彼による、解毒 は毒に るといふ 点からでしょう。 は憎 に り、侵略は 容によって 利するという教 を彼は信じ、 践しました。彼はイスラ ムの知 によって人々の 知を、そして 切で 容な 遇によって人々による愚かさと を り越えたのです。彼はその 容さによって、罪の奴 となっていた人々を解放し、彼らをイスラ ムの大きな味方に えたのです。彼は次のクルア ンの を体 していたのです：

